



木をへらすエビ



絵作 堀井
もも



たろうと母ちゃんが、てんぷらの材料を買いにスーパーマーケットに来ました。そして、たろうの大好きなエビを探しました。
 「母ちゃん。ぼく、たくさん食べたいから、安くてもおいしいこっちのエビを買おう！」と、たろうが言いました。
 そのときです。とつぜん真っ赤な顔をしたテングが現れました。
 「その安いエビを買ったら、どんなことが起こるのか、君たちは知っているのか？」テングはどなりました。
 たろうはドキッとして、急に心配になってきました。
 「どんなことが起こるの？」と、聞こうとしたときです。テングが大きなうちわをあおぐと、インドネシアに瞬間移動（しゅんかんいどう）しました。



「あ！なんだあれ！？とっても変な鼻をしているサルさんがいる！テングみたいだ！！」

と、たろうが言いました。

「正解！あれは、テングザルっていうんだよ！見てごらん。おなかも大きいよ。葉っぱを食べてちゃんと消化しょうかするためなんだよ。」

と、テングが説明しました。



「へえ。おもしろいねえ。でも、テングさん、さっき安いエビを食べると何かが起こるって言っていたけど、このテングザルと何か関係があるの？」
と、たろうは質問しました。



「いい質問だね！テングザルは、マングローブの林をすみかにしているんだよ。でもね、この林が人間の手によって伐採（ばっさい）されてしまっているんだ。」
たろうが不思議（ふしぎ）に思っていると、テングは説明を続けました。
「どうして、マングローブの林を伐採するかというと、エビの養殖池を作るためなんだ。」

「そうなの！もっと知りたい！」とたろうが言いました。



「インドネシアで養殖されてるエビは80%が日本に輸出（ゆしゅつ）されているんだ。それによってマングローブの林にすむテナガザルたちは絶滅（ぜつめつ）しそうなんだよ。森にすむ動物と人間のあつれきはこんなところでも起こっているんだ。」

「え。。。そうなの。かわいそうじゃん」
たろうが言いました。

「いろいろな生き物といっしょに生きていくためには、何をすればいいの？」



「ASCのマークのついたエビを買えばいいんだ！ASCというのはね。。。」



ASC (Aquaculture Stewardship Council) は、「森のエコラベル」として知られるFSC (Forest Stewardship Council) と同じような認証制度（にんしょうせいど）だよ！ASCラベルは、自然（しぜん）を守って育てた魚につけられるマークなんだ！。自然や野生（やせい）の生き物を守りながら、いつまでも魚を食べられるように、このルールが作られたんだ。問題意識（もんだいいしき）を持つ人が多くなり、たくさん人が協力して話し合い、ASCラベルのついたエビを選べば、みんなでマングローブの林を守ることができるようになるんだよ！自然をこわさない使い方をすることで、テングザルを絶滅（ぜつめつ）から守ることができるんだ。





テングがうちわをあおぐとまたスーパーマーケットにもどってきました。テングがフワッと飛んだかと思うと、いつのまにか消えてしまいました。たろうが母ちゃんに「ASCのマークが付いているえびを買おう」と言いました。「え！いつそんなことを習ったの？」母ちゃんが聞きました。「うーん。それはね。。。おうちに帰ってから教えてあげる！人が自然といっしょに生きられるようになったらうれしいな！！」とたろうが言いました。

最後まで読んでくれてありがとう！

この絵本は、2015 年に行った「WWF ジャパン森林絵本コンテスト」で、優秀作に選ばれた作品を本にしたものです。

いま、豊かな森が減り、野生の生きものたちの数も少なくなっています。世界の環境を守る「WWF ジャパン」では、森にすむ生きものたちに、いまどんな問題が起きていて、どうすれば良いのかを学んだ小学生の皆さんから「絵本」を募集しました。小学生の皆さんが、授業で、森や自然、野生動物について学んだことや気づいたことを「絵本」にして家族やお友達に知らせようと、一生けんめい工夫して物語を作ってくれたのです。

みなさんは、この絵本を読んでどう思いましたか？ 感想を、ぜひ家族や周りのお友達と話し合ってみてください。森や、そこにすむ生きものを守りながら暮らすにはどうすれば良いか考える人がたくさん増えることが、森や動物を守ることにつながるからです。

私たちにできることのヒント「FSC®」マーク

私たちが使う紙は、森の木から作られています。むやみに木を切ってしまうと、動物たちのすむ場所もなくなってしまうかもしれません。「FSC®」は、森の生きものや、周りに暮らしたり働いている人のことを考えて、きちんと管理された森や、そこから生まれた紙につけられるマークです。動物たちの暮らしにできるだけ負担をかけないように森を使うようにしているので、FSC マークがついたノートなどを使うことは「森を守りながら使う」ことにつながります。ぜひ、このマークを覚えてください。



WWF って？

WWF は、100 カ国以上で活動している地球環境保全団体です。1961 年にスイスで設立されました。地球上の生物多様性の保全と、人の暮らしが自然環境や野生生物に与えている負荷の軽減を柱として活動しています。

現在、特に力を注いでいるのは、森や海などの生態系を保全すること、木材や魚介類など、自然資源の利用を持続可能なものにすること、地球温暖化を防ぐこと。WWF のサポーターになることは、今すぐ、誰もが始められる環境保全です。人と自然が調和して生きられる未来を築くために、ぜひあなたの力を貸してください。



WWF ジャパン（世界自然保護基金ジャパン）

<http://www.wwf.or.jp>

東京都港区芝 3-1-14-6F

TEL: 03-3769-1241（平日 10:00 ～ 17:00） Email: hello@wwf.or.jp

「WWF ジャパン森林絵本コンテスト」2015 実施概要

参加校（ABC 順）

American School in Japan

Canadian Academy

Makuhari International School

New International School

Nishimachi International School

Tokyo International School

主催 WWF ジャパン

協賛 王子ホールディングス株式会社

監修 堀井清毅 教諭

（Nishimachi International School）



領域をこえ 未来へ

OJI

「WWF ジャパン森林絵本コンテスト 2015」受賞作品
この絵本は、王子ホールディングス株式会社のご支援により
制作されました。

絵本の紙には、OKミューズガリバーグロスハイホワイト 157 g/m²を使用しています。



www.fsc.org

ミックス

責任ある木質資源を
使用した紙

FSC® C015878